

教育委員会会議 平成29年9月定例会 会議録

日 時	平成29年9月28日(木) 13:30 開会 14:25 閉会	会 場	教育委員会室
出席委員	原田 良一 寺元 貴幸 森 尚美 長江 真理子	尾島 邦昭	
出席職員	絹田学校教育部長 松尾生涯学習部長 忠政こども保健部長		
	戸田学校教育部次長(兼)企画調整官(兼)教育総務課長 朝田生涯学習部企画調整官		
	後藤生涯学習部次長(兼)スポーツ課長 小坂田生涯学習部次長(兼)文化課長		
	平井こども課長 松田学校施設課長		
	影山学校教育課長 年岡保健給食課保健給食係長 安藤生涯学習課長		
	小川図書館長 尾島津山市史編さん室長 仁木教育総務課主幹		
	近藤教育総務課主任		
議 事	案 件	担 当 課	
<p>1.開 会</p> <p>2.教育長あいさつ</p> <p>3.会議録署名者 について</p> <p>4.前回会議録の 承認</p> <p>5.教育長等の 報告</p> <p>6.議 事 (1)議 案</p> <p>(2)報告</p> <p>7.その他 (1)各課からの お知らせ</p> <p>(2)次回定例会の 開催について</p> <p>(3)その他</p> <p>8.閉会</p>	<p>5.教育長等の報告 は非公開へ、最後に審議 審議会等委員の休職措置について 審議会等委員の休職措置について</p> <p>旧妹尾銀行林田支店条例施行規則について 津山市文化振興事業基金運営委員会委員の委嘱について 津山文化センターの休館について 津山郷土博物館の休館について</p> <p>市議会9月定例会の質問答弁について 津山市公民館活動推進協議会委員の委嘱及び解嘱について</p> <p>平成29年度津山市小・中学校研究指定校等一覧について 第46回つやま市民スポーツ祭の開催について 幼児教育関係行事について 津山市・諫早市・三市交流展について 津山洋学資料館秋季企画展について</p> <p>津山市教育委員会会議10月定例会の日程について 平成29年10月26日(木)午後1時30分から</p>	<p>(生涯学習課) (学校教育課)</p> <p>(文化課) (文化課) (文化課) (文化課)</p> <p>(各課) (生涯学習課)</p> <p>(学校教育課) (スポーツ課) (こども課) (文化課) (文化課)</p>	

傍聴者 0名

教育委員会会議 平成 29 年 9 月定例会 会議録

(13 : 30)

1. 開 会

2. 教育長あいさつ

3. 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第 15 条第 2 項の規定による。

4. 前回会議録の承認

全員賛成

非公開事案の採決

議事の前に、5.教育長等の報告 は津山市教育委員会会議規則第 13 条第 3 項の規定に該当するとし
て以上 2 件の非公開を全員一致で可決承認。

6. 議事

(1) 議案

旧妹尾銀行林田支店条例施行規則について（文化課）

概要説明

旧妹尾銀行林田支店条例の施行に関し、必要な事項を規則に定め、旧妹尾銀行林田支店の利用に関して、必要事項と提出書類等を定めるもの。4 ページ以降に記載しているが、項目だけの説明とさせていただく。第 1 条趣旨、旧妹尾銀行林田支店条例の施行に関し、必要な事項を定める。第 2 条利用申請、第 3 条利用許可、第 4 条利用許可の順位、第 5 条連続利用の制限で、12 日間を超えて利用できない。第 6 条利用料金の減免に係る特別の理由、第 7 条減免の申請、第 8 条利用時間の解釈及び延長、第 9 条利用許可の取消し、第 10 条利用料金の還付、第 11 条遵守事項、第 12 条毀損等の届出、第 13 条指定管理者に行なわせる場合における規定の適用、第 14 条その他、付則として、条例に併せて平成 30 年 10 月 1 日から施行する。この施設のオープンが平成 30 年 10 月 1 日である。7 ページから 10 ページはそれぞれの様式を提示している。

全員の挙手により原案通り可決承認

津山市文化振興事業基金運営委員会委員の委嘱について（文化課）

概要説明

この 9 月 30 日で運営委員の任期が満了することに伴い、新たに委嘱する。委嘱期間は、平成 29 年 10 月 1 日から平成 31 年 9 月 30 日までの 2 年間。委員は 6 名で、佐野さん、鳥越さん、平井さんが新任で、その他の方は再任。

全員の挙手により原案通り可決承認

津山文化センターの休館について（文化課）

概要説明

津山文化センター条例第 7 条の規定により津山文化センターを臨時に平成 30 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで休館する。事業の概要及び進捗は、津山文化センターの老朽化に伴い、「津山文化センター整備方針」に定められた基本方針に沿い、意匠の継承と機能性・安全性を向上させ、市民に親しまれる芸術文化交流拠点施設として、目標耐用年数 80 年を目指し、建物の耐震化・長寿命化を図る。事業実施にあたっては、効率的かつ効果的に民間の発想力と優れたノウハウを最大限活用し、民間からの提案を基に整備ができる DB（設計・施工一括発注）方式によって事業を進めることにしている。また、事業者の募集及び選定について、公募型プロポーザル方式により、現在募集を行っている。スケジュール的には、只今、再公募を行っており、11 月下旬には優先交渉権者を決定し、12 月議会で建設請負契約議案を提出し、平成 30 年 4 月 1 日から 2 年間、臨時休館し、平成 32 年 4 月に、現時点ではリニューアルオープンする

予定である。
全員の挙手により原案通り可決承認

津山郷土博物館の休館について（文化課）

概要説明

津山郷土博物館条例施行規則第3条第2項の規定により、津山郷土博物館を臨時に、平成30年1月4日から平成32年4月30日までを休館する。耐震改修に伴う休館である。
全員の挙手により原案通り可決承認

（2）報告

市議会9月定例会の質問答弁について（各課）

（学校教育部）

概要説明

「各課」とあるが、各部の調整官若しくは主管課長の方から説明する。まず、概要は、9月定例市議会は8月28日から9月26日の会期で開催され、9月4日から9月8日の5日間、一般質問が行われ、21人の議員が質問に立たれた。そのうち、教育委員会学校教育部へは、8人の議員から質問があった。9月11日の総務文教委員会、9月20日の決算議案の上程を経て、9月26日に閉会している。

学校教育部への主な質問は、1日目の竹内靖人議員からは、学力テストの結果が公表されたが、津山市の子どもたちの状況はどうかと質問があり、小中学校とも津山市の平均値はすべての科目で県平均を超えることはできなかった。小学校は学年を追うにつれ、県平均に近づく状況になっている。中学校においては、基礎問題の国語・算数ともに県平均との差が6から8ポイント開き、基礎的な学力の定着から着実に進めていく必要があること等を答弁している。2日目の小椋議員は、教育全般について、特に、学力テストについての質問が多くあった。テストの岡山県や津山市の状況についてどのように感じているのかとの質問では、県全体ではこれまで課題の分析、基礎・基本の定着を図る取り組みや組織的な授業改革、外部人材の活用、家庭学習の改善等に取り組んできた。これらの取り組みを繰り返し示し、粘り強く続けてきた結果、県下の児童・生徒の平均正答率の上昇につながっていると考えていると答弁している。3日目の安東議員は、テストの結果だけでなく広く学校全般についての質問があり、教育の働き方改革に関する取扱いについては、津山市教育委員会として、岡山県教育委員会の働き方改革にどのような対応・取り組みを行っていくかとの質問に、本市として、岡山県が示されている時間管理の徹底、部活動休養日の徹底、事務業務の軽減、授業準備支援の4点に重点的に取り組んでいく。具体的な取り組みとして、今年度から市で統一した定時退校日の設定や夏期休業中の学校閉庁期間の延長を行っている。また、週2日以上部活動休養日を2学期から設定しており、さらに、校務支援システム導入による業務の効率化促進や授業におけるICT環境の整備を進めていると答弁している。4日目の津本憲一議員からは、教育現場について、質問があった。その中で、部活動と勤務時間に関する質問があり、部活動は、授業後から午後6時頃までの指導や休日の指導も行っていることから、教員の超過勤務の常態化につながっている。中学生にとって部活動は、教育的意義は大きく、知・徳・体の調和がとれた「生きる力」の育成にも大きく貢献するものだと考えているが、現状を見ると、生徒と教職員の健康管理の面でも改善が必要と思われる実態があると答弁している。5日目の近藤議員は、子どもたち自身の将来に向けた教育をどのように行っているのかとの質問があり、子どもたちは、学校を卒業した後、自ら判断し、自立し、自分の人生を生きていかなければなりません。自立して生きていくことは、急にできるようになるものではない。将来、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現するための力を身につけさせるため、自らの生き方に関わるキャリア教育を行っているとの答弁がある。その他にも、黒見議員は災害時の児童の引渡しについて、竹内邦彦議員からはICT環境の整備について、木下議員からは、伝統文化・行事への関わり方についての質問があった。

（生涯学習部）

概要説明

生涯学習部に関する質問だが、その前に資料の訂正をお願いしたい。20ページの中島議員、野村議員の答弁者が教育長となっているが、生涯学習部長に修正願いたい。生涯学習部の方には7名の議員から、決算議案には2名の議員から質問があった。3日目中島議員からガラスハウスを健康増進施設の拠点とし、保険適応施設とすることはできないかと質問があり、介護保険サービスの適用は難しいと判断しており、厚生労働省が指定する運動療法施設の利用料金に関わる医療費控除の適用が考えられる。ただし、いろいろな基準を満たす必要があり、実現の可能性について、指定管理者の判断が求められることから、

研究、協議が必要であると答弁している。野村議員から、佐良山公民館と河辺公民館は農業研修施設と併設だが、これの整備計画の質問があった。津山市公共施設再編基本計画に基づき耐用年数が経過した後は、公民館として建替え更新を検討していくと答弁している。4 日目津本憲一議員から津山城跡の整備事業について、第 1 期計画完了後、津山城郭の今後の取り組みを聞かせて欲しいと質問があり、修復が必要な石垣はまだ多く、平成 37 年度までの 1 期計画期間内では完了する見込みはない。38 年度以降に予定されるであろう第 2 期計画の中でも、市民の夢である天守復元に向けての道筋となる石垣修復などの通常整備事業を粛々と行っていく見込みであると答弁している。また、国指定の旧苅田家住宅の今後の展開について質問があり、旧苅田家住宅は老朽化が激しいため、今年度中に緊急修理を行い、その後、専門家などから構成される「保存修理活用検討委員会」を立上げ、保存整備事業に入って行く予定である。現在、事業開始スケジュールについて、国・県と協議を行っていると言っている。木下議員から、スポーツ合宿、スポーツ大会の誘客について質問があり、平成 27 年度から「合宿誘致宿泊費助成金制度」、平成 28 年度から「スポーツ大会開催運営費補助金制度」を創設しており、スポーツによる交流人口の増加を目指して、全国からスポーツを目的に訪れる皆さんの誘客に取り組んでいると答弁している。5 日目松本議員から市長の政治姿勢について質問があり、市の施策として、スポーツによる交流人口の増加に取り組むのであれば、もっと積極的に受け入れ活動してもよいのではないかと質問があった。スポーツ大会開催運営費補助金の交付や施設の事前予約を行なうなどの支援策を準備することで、大会の受け入れに取り組んでいるものである。今後も誘致する方向で参りたいと答弁している。また、公認プールと総合武道館建設の要望について質問があり、新たな公認プールの建設については、他の市所有プールとの関連など、整理すべき課題が多いと判断している。また、総合武道館建設とともに多額の経費が予想されることから、財源を含めて検討すべきものと考えていると答弁したところ、いつまで検討するのかとの質問があり、スポーツ施設の建設要望は真摯に受け止めているが、公共施設再編基本計画との整合性が重要になりますので、既存施設の老朽化が進む中、まずは利用者の安全・安心を優先した整備が必要であると考えていると答弁している。5 日目近藤議員から、スポーツ施設の特徴を活かした交流人口増加の取り組みと、ガラスハウスについて質問があり、合宿誘致宿泊費助成金とスポーツ大会開催運営費補助金について、今年度で試行期間が終了するため、継続して運用するための見直し作業を行っており、対象範囲の拡大も含めながら、利用しやすく、またスポーツ施設の利用拡大や地域経済の活性化に反映できる制度となるよう、検討を行っている。ガラスハウスの位置づけは、本市におけるスポーツツーリズムの核施設となるよう、新たな取り組みと PR に努めていくと答弁している。秋久議員から、子ども・若者育成支援事業の取り組み状況について質問があり、本年度末を目途に、関係機関、関係団体とネットワークを構築し、子ども・若者育成支援推進法に基づく、子ども・若者支援地域協議会を設立したいと考えていると答弁している。また対象年齢はどのように考えているのか質問があり、子ども若者支援地域協議会での支援対象は、ひきこもりだけでなく、ニートや不登校などもあり、基本的には 40 歳未満とする予定であると答弁している。また、実態調査を実施すべきではないかとの質問があり、実態調査については、目的や必要性が明確で、かつ実効性のある調査でなければならない。そのためには協力が得られやすい調査方法や調査規模の検討、調査員の理解を求めるための事前研修など、さまざまな課題がある。まずは実態調査の必要性や、これらの課題をどのようにクリアしていくかについて、子ども・若者支援地域協議会の中で検討していきたいと答弁している。決算議案の質問で金田議員から、スポーツセンターサッカー・ラグビー場のネーミングライツについて質問があり、施設の人口芝生化にともない、市として初の試みとして、平成 27 年 3 月 20 日から 3 年間、命名権の契約締結を行っているもの。今年度、契約期間の満了を迎えるにあたり、継続実施を目指して、公募手続きを行う予定にしていると答弁している。最後に中村議員から、ガラスハウスの管理運営委託料について質問があった。平成 23 年度からの指定管理者を募集した際の収支試算と比較したところ、3,000 万円程度、今の収入との差があることがわかり、これに伴って指定管理料を増額したものの。その効果としては、経営が安定し、あらたな会員募集や PR 活動、自主事業等に取り組んだ結果、平成 28 年度の利用者は 120,849 人で、一定の来場者数は確保できている。また、今年 7 月と 8 月の夏季来場者数は、昨年度より 10% 増加となり、津山市に譲渡された平成 23 年度以降では、最高の人数であったと答弁している。

(こども保健部)

概要説明

こども保健部には、3 名の議員から質問があった。4 日目木下議員から、保育園・幼稚園の待機児童の状況について質問があり、待機児童は出ていない状況を答弁している。5 日目近藤議員から、発達障害児への支援や保護者支援について質問があった。保育園・幼稚園では、支援が必要と診断された子ども

の状況や人数に応じて、担任以外の保育士、幼稚園教諭等の配置ができるよう、障害児保育事業等を実施し、子どもの状況に応じた適切な支援を目指している。通級指導教室の職員が、みどりの丘保育所に出向き、保護者が気軽に相談できる場として出張乳幼児教育相談を実施している。また保護者支援については、保護者の発達に対する不安や、生活上の困り感に沿って支援をすることが大切と考え、各園の担当保健師を決めて、保育士、幼稚園教諭が連携・協力して、保護者の方が気軽に相談できるような体制整備を行っている」と答弁している。美見議員から平成 28 年度決算、幼稚園使用料 284 万 9 千円の収入未済の件数と理由について質問があった。収入未済の件数は 45 件で、特に過年分について、未納が発生する要因として、入園中に支払いが滞っていた保護者について、自分の子どもが卒園してしまうと、さらに納付に対する意識が希薄になってしまうことも一因であると分析している。件数について、平成 27 年度は 43 件で、平成 26 年度は 33 件となっている」と答弁している。

津山市公民館活動推進協議会委員の委嘱及び解嘱について（生涯学習課）

概要説明

委嘱については、連合町内会河辺支部からの推薦による響尾委員。選出団体は人神第一町内会。すでに坂本委員が同町内会から選出されているが、追加で新たに推薦されたもの。任期は、平成 29 年 9 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日。解嘱は、連合町内会二宮支部からの報告で、細江委員が 8 月 14 日に亡くなられたので、亡くなられた日をもって解嘱する。なお、二宮支部からは今の任期平成 30 年 3 月 31 日までは、新たに委員推薦はしないとの報告を受けている。

（非公開）
削除

7. その他

（1）各課からのお知らせ

平成 29 年度津山市小・中学校研究指定校等一覧について（学校教育課）

概要説明

9 月 15 日現在の一覧。以前、お示ししていたものに実施日を入れている。別途詳細な案内はするが、参考にさせていただきたい。

第 46 回つやま市民スポーツ祭の開催について（スポーツ課）

概要説明

協賛広告を募っておりチラシはないが、今年は第 46 回目で 10 月 8 日曜日 9 時に開会し、少雨決行で行う。

幼児教育関係行事について（こども課）

概要説明

10 月 13 日に鶴山幼稚園において、市立幼稚園教育研究大会が、10 月 17 日にグリーンヒルズにおいて、幼稚園合同保育ワイワイまつりが、10 月 26 日に、グリーンヒルズリージョンセンターにおいて、岡山県公立幼稚園 P T A 連絡協議会研修会が行われる。また、10 月 21 日におぎゃっと 21 が 9 時 30 分から 15 時まで、リージョンセンターで行われ、9 時 30 分からは、ウエルカム演技を広野保育園園児が行い、オープニングセレモニーのテープカットは東幼稚園の園児が行う。そして、10 月 28 日は津山ミュージックフェスティバルが津山国際総合音楽祭とのタイアップで津山総合体育館にて行われる。

津山市・諫早市三市交流展について（文化課）

概要説明

津山市の事業ではないが、出雲市が出雲文化伝承館で開催する。津山・出雲・諫早交流 35 周年の記念事業で、今回、出雲市で津山と諫早の歴史的名品を紹介する展示会を津山市も協力して行う。記念式典には 3 市交流ということもあり市長も出席する。将来的には、諫早市、津山市の順に上手く行けば開催する。3 市交流展は 10 月 14 日から開催される。

津山洋学資料館秋季企画展について（文化課）

概要説明

「絵画史料に見る江戸の洋楽事始」と題して、10月7日から開催する。今年は津山国際総合音楽祭の開催の年であり、西洋音楽の共通のテーマを持ち開催するもの。津山藩医の宇田川榕菴も日本で初めて学術的に研究した。神戸市立博物館からも貴重な展示品をお借りし展示する。江戸時代幕末に日本人がいかに西洋音楽を受容していったかをテーマにした企画展。

(2) 次回定例会の開催について

教育委員会会議 10月定例会を平成29年10月26日(木)午後1時30分から開催。
全員賛成により決定。

(3) その他(なし)

8. 閉会

(14:25)